

令和4年度 第1回 第2期健康横浜21計画評価及び次期計画策定検討部会 議事録	
日 時	令和4年8月1日(月) 18時30分～20時30分
開催場所	オンライン開催
出席者	第2期健康横浜21計画評価及び次期計画策定検討部会委員 8人(資料1)
欠席者	第2期健康横浜21計画評価及び次期計画策定検討部会委員 1人(資料1)
開催形態	公開(傍聴者1人)
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 あいさつ 3 議 事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 第2期健康横浜21最終評価報告書の確定・公表について (2) 第3期計画の骨子案・健康課題の抽出方法に関するこれまでの検討状況について (3) 第3期健康横浜21の目次構成案(たたき台)について (4) 横浜市民の健康を取り巻く現状(たたき台)について (5) 歯科口腔保健推進検討部会における検討状況について (6) 食育推進検討部会における検討状況について 4 その他 <ol style="list-style-type: none"> 第3期計画策定スケジュールについて
開 会	<p>(健康福祉局健康安全部保健事業課 岩松課長)</p> <p>ただいまより「令和4年度第1回 第2期健康横浜21計画評価及び次期計画策定検討部会」を開催する。本日の会議について、公開とさせていただくこと、および議事録作成のため、議事内容を録音させていただくことについて、御了解いただくようお願いする。</p> <p>次に、事務局から定足数について御報告する。本部会は、健康横浜21推進会議運営要綱の第7条に基づき、横浜市の附属機関である健康横浜21推進会議の部会として設置したものである。</p> <p>当部会の委員総数は9名で、本日は8名の委員が出席している。健康横浜21推進会議運営要綱第6条第3項の規程に基づき、過半数を満たすため、本会議が成立していることを報告する。</p>
あいさつ	<p>(健康福祉局健康安全部 嘉代部長)</p> <p>昨年度は、第2期健康横浜21の最終評価の実施にあたり、委員の皆様には、今後の横浜市にとって示唆に富んだ、多数の貴重な御助言をいただき、感謝申し上げます。おかげさまで、次の第3期計画に向けて、大いに参考にできうるものがまとめられたのではないかと考えているので、きちんと今後に生かしていきたい。さて、今年度は、令和5年度末に完成を目指す、第3期健康横浜21の策定をスタートさせる重要な年となる。2年間かけて策定するものではあるが、令和5年度は横浜市会への報告や議案審議を行っていくことを想定しているため、実質の</p>

	<p>策定作業は、今年度が中心となる。</p> <p>歯科口腔保健推進検討部会、食育推進検討部会、そして、こちらの評価・策定検討部会の3つの部会の連携を図りながら、そして、国が同時進行で策定を進める次の「健康日本21」の動向をにらみながら、といった難しい舵取りが必要な状況である。</p> <p>引き続き、委員の皆様のお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。</p> <p>本日は限られた時間ではあるが、活発な御議論をどうぞよろしくお願い申し上げます。</p>
議 事	<p>議事（1）第2期健康横浜21最終評価報告書の確定・公表について 事務局から資料3【冊子】第2期健康横浜21最終評価報告書について説明</p> <p>（豊福部会長）</p> <p>素晴らしい分厚い資料ができています。ゆっくり確認してほしい。質問はあるか。</p> <p>（一同）</p> <p>特になし</p>
	<p>議事（2）第3期計画の骨子案・健康課題の抽出方法に関するこれまでの検討状況について 事務局から参考資料1・参考資料2について説明</p> <p>（豊福部会長）</p> <p>質問はあるか</p> <p>（一同）</p> <p>特になし</p>
	<p>議事（3）第3期健康横浜21の目次構成案（たたき台）について 事務局より資料4を説明</p> <p>（豊福部会長）</p> <p>目次構成案について、意見・質問はあるか</p> <p>（村山委員）</p> <p>第3章の生活習慣の改善における行動目標と取組内容について、食生活、歯・口腔など、それぞれ項目が挙がっている。第4章の環境づくりの取組に関して、大きく2つの項目「健康になれる環境づくり」、「関係部局との連携」とあるが、こちらもそれぞれ目標値を設定し、5年後なり10年後の評価を実施するというイメージでよいか。</p> <p>（事務局）</p> <p>市民の側のアウトカムというよりは、行政側のアウトプットを指標にするか思案中。</p> <p>（村山委員）</p> <p>第4章1の健康になれる環境づくりはそのようなイメージと考えるが、2 関係部局との連携については、「〇〇の紹介」に留まっている。紹介として終</p>

わるのか、評価対象としてみているのか。

(事務局)

他の行政計画に位置付けられ、計画期間が異なってくる可能性や、取組を健康福祉局でコントロールすることは難しいことから、関係部局が主体的に実施しているものに関しては、評価指標などを設定せず紹介にとどめることを現時点では考えている。

(村山委員)

1「健康になれる環境づくり」と2「関係部局との連携」について、同等ではないということによいか。

(事務局)

その様に考えている。

(赤松先生)

第3章3(7)の感染予防・災害が一緒なのは無理があるので分けても良いのではないか。

第4章環境づくりの取組の1健康になれる環境づくり(2)食環境づくりの部分は環境目標として何か設定をした方がよいのではないかと考えている。

環境目標について、第3章3生活習慣の改善における行動目標と取組内容の(1)食生活の行動目標と目標値の部分に入れるのか、第4章に入れるのかはこれから検討する必要がある。

(事務局)

検討していきたい。

(土屋先生)

国の健康日本21のワーキングが今年度、次期計画策定のために開催しているようである。その情報が乏しい中で苦勞されていると思う。そちらとの整合性等、わかっていることがあれば知りたい。超高齢社会となるので、高齢者も含む計画と考えてよいか。

(事務局)

健康日本21の専門委員会は随時視聴しているが、そちらはまだ次期策定には入っていない。今後も動きを注視したい。超高齢社会を見据えて、介護予防等、高齢部門との連携は必要と考えている。高齢部門の計画も同時期に立ち上がるため、協力していきたいと考えている。

(佐藤委員)

第3章5ライフステージ別の行動目標と取組内容の部分について、ライフステージは変えるのか。

(事務局)

「稔りの世代」という表現について、聞いたことが無いと指摘を受けている。「高齢期」「成人期」「学齢期」などの様にした方が良いかと考えているが、歯科の方ではもっと細かくライフステージを分けているので、整合性をとっていきたい。また、現在の65歳以上は若く、特定健診も74歳までであり、どの様に分けていく

のかは検討が必要と考えている。

(佐藤委員)

A Y A世代といつも伝えている。歯科口腔保健と整合性をとってもらえたらと思う。

(田口委員)

第3章行動目標と取組において、パーソナルヘルスレコード、DX化、ICT活用等についてはどのような方針であるか。これらを市民の行動目標に取り入れる考えはあるか。

(事務局)

取組としては検討するが、市民の行動目標として設定することは、今の所は考えていない。

(豊福部会長)

第3章(7)感染予防・災害への備えについては、生活習慣の改善における行動目標などとは違うため、ここの部分で無くても良いかもしれない。ただし、この項目は重要であるため、削除しないでほしい。21世紀は新型コロナウイルス感染症やサル痘などの新興感染症がある。災害についても、横浜もいつ大水害・大地震に見舞われるかわからない。行動目標・取組の中にそのような事態になった時のことを想定して考えることができる項目を入れてもらいたい。第4章の環境づくりの取組の中にも健康になれる環境づくりのみではなく、緊急時の視点も入れてほしい。今までは収束まで短期間の想定で、緊急事態のみに備える視点になりがちだった。しかし、現状ではコロナが長期化している状況である。大きな天災が起こった場合には、長い期間収束しないことを想定して検討する必要がある。その上で、健康づくりを推進していかなければならないという提案をしてほしい。

(豊福部会長)

議事(4)について事務局と後藤委員から説明を。議事(6)まで続けて事務局の説明をお願いします。

議事(4) 横浜市民の健康を取り巻く現状(たたき台)について
事務局より資料5-1を説明、後藤委員より資料5-2を説明

(事務局)

本市と横浜市立大学による「データ活用に関する包括連携協定」に基づき、健康に関する市民意識調査の結果分析や保健施策の推進等に向けた覚書を、令和4年1月に交わしている。

この覚書に基づき、横浜市立大学大学院ヘルスデータサイエンス専攻の教授である後藤温委員や関連の先生方に、「令和2年度 健康に関する市民意識調査」や「国民生活基礎調査」のデータを用いて、高度な分析を行っていただいている。健康寿命の延伸に関わる要因は何であるのか、また健康無関心層といわれる人たちはどのような生活習慣を持っているのか等、求められながらも分析が難しかった事柄について、新たな知見が得られるものと期待している。

次回も続報をご報告いただく予定であるが、分析結果の第一報を後藤委員からご

	<p>説明いただく。</p> <p>議事（５） 歯科口腔保健推進検討部会における検討状況について 事務局より資料 6-1・6-2 を説明</p> <p>議事（６） 食育推進検討部会における検討状況について 事務局より資料 7-1・7-2 を説明</p> <p>（部会長） これより議論の時間とする。議事の（４）以降、資料 5-1 からの部分について、お一人 5～6 分程度で指名する。</p> <p>（赤松委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・溺死が多いことに驚いた。溺死の予防のために基礎疾患が何かわかるか。血圧なのか。調べていたら知りたい。 ・食環境の目標設定について、自然・地球環境のことは外せない。SDGs について食は特に関係してくる。その視点の中に入れた方が良いのではないか。 ・後藤委員の解析について、健康無関心層の解析、目標設定や今後の取組にも活かせると思う。健康無関心層の属性について知りたい。性別・年齢のみでなく、どの地域に住んでいるか、また職業なども知りたい。 <p>（後藤委員）</p> <p>健康無関心層の属性について、ソーシャルキャピタルと関係がある。周りの方とかかわりが無い、サポートを受けていない人に無関心が多いという分析結果であったと思う。機会があれば共有したい。</p> <p>（土屋委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後藤委員の解析について、健康寿命と腰痛についての部分が、以前の全国の研究班の腰痛の結果と一緒だったので驚いた。 ・健康寿命の関係で腰痛以外に膝の痛みで運動できないと言われることが糖尿病の指導などでも多い。膝の痛みについてどうだったか知りたい。 ・溺死について驚いた。静岡県でも脳血管疾患が多く、ヒートショックと家庭内の温度の関係について研究を始めていきたいと思っていた。トイレ・浴室にストープを置くような話がある。 ・健康無関心層について、筑波大学の研究がある。健康無関心層は広報・TVから健康情報をとらない。家族や友人など大切な方からの口コミで健康情報をとるというデータがあり、そのため、健幸アンバサダーを普及啓発している。健康無関心層への啓発は重要である。 ・運動について、横浜市ではハード面でウォーキングコースや歩きたくなる街づくりはどの様にしているのか。港の見える丘公園など歩いている人が多い印象があった。 <p>（村山委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康無関心層については、5つの好ましくない生活習慣の関係性が大事。どの好ましくない生活習慣を取り除けば、他の生活習慣も改善していきけるのか。例えば、運動を始めれば他の喫煙等も良くなるのであれば、運動習慣の改善からアプ
--	--

ローチしていくべき。ターゲット決めやどこに重点を置くかが大切。

- ・特定健診について、年齢が上がると受診率が上がる。無償化により受診格差が広がったという結果がある。若い人は受診しないままで、年齢が高い人はより受診するようになった。また、所得が低い人は受診率が伸びず、所得が平均以上の人がより伸びた。年齢や収入など、属性に応じてどの様に働きかけをするかが大切。健康無関心層の特徴を捉えることが必要。
- ・若者のメンタルヘルスが影響していると考えられる。健幸アンバサダーについて、特に若い人の場合は、友達付き合いや職場の同僚など関係性が近い人からの影響を受けやすい。学校単位・職場単位でタスクを入れていくことが大切。今回の分析で用いられた国民生活基礎調査は2019年のもので、コロナ前のデータであり、コロナでより若者の孤独感が顕著となっていると調査結果があるため、メンタルヘルス対策・孤立化対策が重要。

(後藤委員)

- ・それぞれの委員の意見を今後の分析に活かしていく。
- ・健康横浜21の次期計画に関する話の中で、具体的にどのような取組をするか、関係部署がメインで行っているものがあると思うが、インプットとアウトプットが明確となると良い。

(佐藤委員)

- ・後藤委員の話が興味深い。健康無関心層には、結局全てヘルスプロモーションの概念だと思う。横浜市民にいつの段階からどの様に概念が浸透すれば健康に資する行動に繋がるのかなと考えた。高齢になってからでは遅い。
- ・糖尿病と歯周病との関係について、糖尿病を良くするために歯周病を治療し、歯周病を良くするために糖尿病を治す。好ましくない生活習慣が5拍子揃うことと、周術期に歯科治療に通うかどうかにもつながる。内臓の手術前になぜ歯をよくするのかということが繋がらないのと似ている。
- ・民生委員をしているため、75歳以上の高齢者を訪問することや、子どもたちの様子を見る機会がある。虐待事例もみる。健康無関心層になりたくてなっているわけではない。経済格差がある。診療の際に歯ブラシを持ってくることができない。1000円で歯の痛みを何とかしてほしいと言われた。どの様に対応するか迷った。現場と市がやろうとすることに差が広がってしまう可能性がある。仕方のないことであるが、多職種で連携をとってやっていかないと差が埋まらない。全てが重なっている。

(長谷川委員)

- ・健康無関心層がどの区に多いのか気になる。
- ・健康無関心層についての分析の中で、好ましくない生活習慣の食事に関しては、「朝食欠食」が項目であったが、食事に関する興味や何を食べるかなど全く興味が無いのか気になった。
- ・健康無関心層が多いということに驚いた。そこに働きかけることが次回の目標になると考えた。自然と健康になれる仕掛け、食・運動も大事。具体的な提案が

できたらよい。

・資料5-1の17ページ、ウ区別に見る主要死因の標準化死亡比の部分で、横浜市の男性では、肝疾患が全国と比較して有意に高い状況となっていた。中・南区・鶴見区が上位であった。肝疾患について、ウイルス性の物を除くと書いてあったので、飲酒との関連も考えられる。第2期健康横浜21最終評価で、生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合が減少したという結果があったが、注目が必要と考えた。

・食環境整備が大切で、関連団体との協力が大事。巻き込んだ提案が必要。
(田口委員)

・SDGsや格差の問題など新たなステージになっていることを感じる。健康に直結する格差の問題に取り組んでいきたい。

・健康無関心層の属性を明らかにすることと、健康指標との関連はどうだったのか。実際どの様なアウトカムになっていたか気になった。

・健康寿命とうつの関係。健康日本21だとうつは忘れられがち。対策を立てたい。

・資料5-1の26ページの主要疾患の状況について、血圧を下げる薬を服用している「はい」と回答した男性が〇%と書いてある。薬を服用している人が少ない方が良いが、受診していることが良いことと捉えられることもあるので、何が良いことなのか解釈を加えるとわかりやすい。

・数値の所の単位がわからない場所や、平均値なのか不明な点などがあり、明確にさせていただけるとわかりやすくなる。

(豊福部会長)

・資料5-1の18ページについて、区別の状況で区で差が出てくる。偏見ではないが、簡易宿泊所・港湾労働者の多い所が悪いため、その様なところへのアプローチが必要と考える。

・女性の労働がM字カーブにならなくなったが、特定健診の受診率が低いということは、非正規雇用者が健診に結びついていない可能性がある。行政のみではなく、産業保健の分野でどの様に努力をするのかが課題。産業界に進言していくことが任務かと思う。

・佐藤委員へ、歯科健診について、健診の結果をもらうことができるのか。書類があるのか。

⇒(佐藤委員) 特定健診には2項目の歯科関係の問診はあるが、歯科の検査は無し。横浜市歯周病検診がある。検診しているだけでは健康寿命の延伸に繋がらない。節目検診は受診率低い。検診を受けて終わりではなく、良い結果であれば行動を継続してもらうことや必要時は治療につながるようになることが大切。

⇒(豊福部会長) 節目検診の案内はどうしているか。検査結果の返却はあるのか知りたい。

⇒(佐藤委員) 区によってなのか市全体なのか、前はハガキで勧奨していた。鶴見区は区長決裁で70歳の方には受診勧奨とリーフレットが送付されている。

	<p>健診結果はすぐに渡すことができる。歯周病の検診結果と口腔保健と全身の関係についての案内をしている。</p> <p>(長谷川委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「稔りの世代」というネーミングについて、豊かなイメージ。講座の中に入れている。大分定着していると思う。変えずに継続してほしい。 <p>(豊福部会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネーミングについては、説明を加えれば理解しやすいのではないか。 <p>(赤松委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後藤委員の分析の関連で、健康行動の研究分野の中には、共起・共変動「Co-occurrence」「Co-occurring」という研究がある。禁煙をするとその他の行動もやってみようという気持ちになると言われている。ハードルが高いが難しい禁煙ができると運動もやろうと考えるなどの研究結果がある。女性の喫煙行動は複雑で、男女で反応が違うようだ。 <p>(豊福部会長)</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で若い世代の精神疾患、うつ、これからも増えていくのではというところ。これからも結果が出てくればご披露いただきたい。</p> <p>時間になったので、意見交換を終了する。今日の意見を踏まえて、事務局の方で調整していただき、9月2日開催予定の健康横浜21推進会議を経て、11月予定の次回の部会に向けて詰めていくことになる。よろしくお願ひしたい。</p> <p>それでは、本日の議事は終了したので、進行を事務局にお返すする。</p>
<p>その他</p>	<p>その他 第2期最終評価・第3期計画策定スケジュールについて 事務局から資料8について説明</p> <p>閉会 (事務局)</p> <p>次回は11月30日(水)19時から予定している。次回の部会では、健康課題のまとめや目標値の設定、取組の検討を進めたいと考えている。今年度末には骨子案を固めたい。2月の部会では具体的な骨子案に御意見をいただきたい。</p> <p>これにて閉会とする。</p>
<p>資料</p>	<p>資料1 第2期健康横浜21計画評価及び次期計画策定検討部会 委員名簿</p> <p>資料2 健康横浜21推進会議運営要綱</p> <p>資料3 (冊子) 第2期健康横浜21最終評価報告書(令和4年6月)</p> <p>資料4 第3期健康横浜21の目次構成案(たたき台)</p> <p>資料5-1 横浜市民の健康を取り巻く現状【第3期計画 第2章】(たたき台)</p> <p>資料5-2 後藤委員 提供資料</p> <p>資料6-1 歯科口腔保健における現状と課題(案)</p> <p>資料6-2 歯科口腔保健推進計画における目標・指標(案)</p> <p>資料7-1 食育推進における現状と課題【次期横浜市食育推進計画骨子(案)】</p>

	<p style="text-align: center;">抜粋】</p> <p>資料 7 - 2 食環境整備検討会の開催状況</p> <p>資料 8 第 3 期健康横浜 2 1 策定スケジュール (予定)</p> <p>参考資料 1 第 3 期健康横浜 2 1 骨子案の作成に向けた論点整理について (R3. 7. 20 時点)</p> <p>参考資料 2 第 3 期健康横浜 2 1 策定に向けた健康課題抽出について (R3. 12. 27 時点)</p>
--	--